

大阪公立大学 専任教員募集要項
〔看護学研究院・看護学研究科・子ども・家族ケア科学分野〕

2025 年 12 月 11 日

人事委員会

この度、大阪公立大学の専任教員を募集することになりましたので、下記によりご応募いただきますようお願い申し上げます。

1	募集人員	助教 1 名	
2	所 属	看護学研究院・大学院看護学研究科・看護学専攻/看護学部/ 子ども・家族ケア科学分野	
3	研究分野の 内容	小児看護学の研究	
4	職務内容 (予定)	<div>教育</div> <div>研究</div> <div>その他</div> <div>変更の範囲</div>	<p>【担当授業科目（予定）】</p> <p>〈学部（学域・機構）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ケアと意思決定」「子ども・発達ケアシステム論」「子ども・家族看護過程演習」「子ども・家族看護過程実習」「研究セミナー1」「研究セミナー2」「研究セミナー3」「研究セミナー4」「ケアシステム科学実習」 ・学部（学域・機構）における専門分野の教育及び基幹教育科目：「初年次ゼミナール」 <p>〈研究科〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博士前期課程：「子ども・家族ケア研究特論」「子ども・家族ケア研究演習 1」「子ども・家族ケア研究演習 2」「看護学基礎」「看護学基礎演習」 <p>・大学院・学部（学域・機構）における専門分野の教育及び基幹教育 ※大阪市立大学・大阪府立大学の学生が在学中は、対応する教育についても担当していただきます。 ※現在、大阪公立大学看護学部・看護学研究科は新たなカリキュラムに向けての準備を進めております。それに伴い、新たな担当科目を担当いただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児看護学の研究 ・大学運営にかかる業務 ・社会貢献に係る業務 ・教育、研究、大学の管理運営の範囲内

5	着任予定時期	2026年4月1日以降出来るだけ早い時期
6	勤務形態	常 勤（任期の定め：5年）※ただし、1回に限り再任することがある。
7	給与・手当等	公立大学法人大阪の制度が適用されます。 https://www.upc-osaka.ac.jp/regulation/
8	勤務場所	大阪公立大学 阿倍野キャンパス
	勤務場所 （変更の範囲）	法人の定める事業場
9	応募資格	1) 修士の学位を有する者 2) 看護師免許を有する者 3) 小児看護の経験を含めて看護師として5年以上の臨床経験を有する者 （小児看護専門看護師としての臨床経験を有することが望ましい） 4) 看護系大学において小児看護に関する教育経験を有する者 5) 小児看護学の研究業績を有する者 6) 学校教育法第9条に規定する欠格条項に該当しない者 7) 本学の運営に関する能力と熱意がある者 8) 大学院・学部の子ども・家族ケア科学に関する教育及び基幹教育を担当できる者
10	応募書類	・履歴書（様式1） ・教育研究業績書（様式2） ・本学での看護教育・研究に対する抱負について（2000字程度） ・主要論文
11	応募締切	2026年1月9日（金）
12	選考方法	（1）1次選考（書類選考） （2）2次選考（必要に応じて面接等をおこなう） ※ なお、面接等のために要する経費は、応募者の負担とします。
13	書類提出方法	・以下 URL より応募書類をご提出下さい。 https://logoform.jp/f/jTIDV ・応募書類は1つの zip ファイルにまとめたうえで、zip ファイル名を「看護学研究科 子ども・家族ケア科学分野所属教員（助教）応募書類+氏名」として下さい。パスワードの設定は不要です。 ※ 提出書類に記載された個人情報は、教員採用選考の資料としてのみ利用し、個人情報の保護に関する法律に基づいて適正に取り扱います。

14	問合せ先	<p>〔専門分野関係〕</p> <p>大阪公立大学 看護学研究院 大学院看護学研究科 子ども・家族ケア科学分野</p> <p>担当者：平谷 優子</p> <p>Mail：hiratani.yuko@omu.ac.jp</p> <p>電話：06-6645-9081</p>
		<p>〔募集全般〕</p> <p>公立大学法人大阪人事委員会事務局</p> <p>電話：06-6967-1824（ダイヤルイン）</p>
15	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・本募集は、公立大学法人大阪が、『大阪公立大学』に勤務する教員として採用するものです。 ・大阪公立大学では、多様性の確保・国際化の理念に基づき、専門分野が合致し、同等の教育・研究業績があると認められる場合には、女性教員や外国人教員の積極的な採用に取り組むこととしています。